

# 文化審答申

## 県内30件有形文化財に

### 小松屋旅館本館(新潟)など

国の文化審議会(宮田亮平会長)は11日、新潟市の小松屋旅館本館や村上市の野沢食品工業の店舗兼主屋など県内30件の建造物を登録有形文化財に登録するよう馳浩文部科学相に答申した。近く告示される。これにより本県の建造物の登録有形文化財は440件になる。

#### ■田の字形の造り

新潟市西蒲区岩室温泉の小松屋旅館は1751(宝暦元)年に創業した。今回、本館、広間棟、表座敷棟、奥座敷棟の4件が登録された。

本館は1951(昭和26)年に建築された木造2階建て。部屋は田の字の構成で田舎造りとなっている。



各所に地元の木材が使われている小松屋旅館本館||新潟市西蒲区岩室温泉

#### 表座敷は、床の間の落掛

や違棚の束などに、かつて敷地内にあった黒柿を建材として使った造りが特徴だ。

代表取締役の渡辺浩史さん(39)は「小さな古い旅館だが、和の風情を感じるこゝとができる」と話す。

#### ■寄港地の家並み

村上市で登録有形文化財



現在はみそ、しょう油を製造する野沢食品工業の店舗兼主屋||村上市塩谷

#### に指定されたのは、同市塩谷にある旧野沢豊五郎醸造

醤油蔵、前蔵、下蔵と、野沢食品工業の店舗兼主屋、野沢家住宅主屋、瀬賀惣一郎商店の店舗兼主屋と倉庫。いずれも北前船の寄港地として栄えた歴史を感じさせる景観を形成している。

明治初期、昭和初期に建てられた建物だが、瀬賀惣



大正期の銀行建築が残る秋山孝ポスター美術館長岡本館||長岡市宮内2

#### ■大正の風情残す

長岡市宮内2の秋山孝ポスター美術館長岡本館は、北越銀行の前身である旧長

岡商業銀行宮内支店として1925(大正14)年に建設された。鉄筋コンクリート造りで、館内は高さ約5分の吹き抜けになっている。

鉄骨トラスの屋根、れんがを模したタイルの外壁など、大正時代の建築様式を色濃く残す。2009年に同市出身のポスターデザイナー秋山孝さん(63)の作品を展示する美術館として生まれ変わった。秋山さんは「美しい建物なので、多くの人から大切にしてもらいたい」と話した。

#### ■木をふんだんに

小千谷市若柝集落の農家民宿「おっこの木」として使われている農家の主屋は1867(慶応3)年に建てられた。座敷や寝間、土



伝統的な農家の特徴を伝える「おっこの木」主屋||小千谷市真人町